

平成20年度 地域分権

事業の評価書

北豊島地域コミュニティ推進協議会

平成21年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会
代表者名 川口和則



記

事業の名称	安心・安全な地域づくり備品整備事業
事業実施前の状況	過去は地域ごとに防犯パトロールを実施されていたが北小校区単位での防犯活動は見られなかった。
事業実施後の状況	コミュニティ協議会が設立と同時に協議会の部会として防災・防犯部会を立ち上げ部会長を中心に校区内でのイベント等の会場防犯グッズを着用し、雑踏警備を実施。 イミテーションであるが防犯カメラ(5台)を北小前 豊島東公園に設置。
事業の効果	防犯グッズ(コミュニティネーム入り反射帯付のチョッキ)着用、保安指示棒の携帯。 人目に付きにくい場所へのイミテーション防犯カメラの設置についてもそれなりの効果はあった。
今後の課題等	防犯活動 防犯意識向上に向け 多くの会員 地域の人たちの参加をお願いしたい。今後は防災活動に目を向けて行きたい。

平成21年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会

代表者名 川口和則



記

事業の名称	コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	地域コミュニティとは何か会員を含め住民方々ご理解がなかった
事業実施後の状況	コミュニティ推進協議会がどのような考え方 事業を行っているのか、ご理解をいただく事と会員の募集を兼ねて2ヵ月一度いけだ広報に同封して地域の住民に配布した。
事業の効果	20年度は5回発行、北小校区約6,800世帯に配布。 配布回数を重ねるごとに理解を深まっていると思います。
今後の課題等	紙面制約はありますが出来るだけ読んでいただけるように記事内容の充実とカラー化等で読んでいただけるように改善を加えていきたい。

平成21年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会
代表者名 川口和則




記

事業の名称	旧北豊島公民館地域活用事業
事業実施前の状況	旧北豊島公民館は長い期間の間休眠状態であった。
事業実施後の状況	館内の改装し、北小地域住民が以前のように住民中心のコミュニティの場とし又はボランティア活動の中心施設として開放し、再利用をして行く。
事業の効果	改装後地域の老人会 子供会 地域福祉等団体の会議、協議会主催の講習会(版画教室 健康促進教室 園芸教室等) 幼児向け図書室開設等により地域の住民の健康 福祉向上に寄与している。
今後の課題等	運営委員会を中心に地域住民が参加楽しめる、イベント 教室 絵画展 音楽会 等活気あるプラザを企画運営して行きたい。

平成21年5月31日

事業の評価書

池田市長様

協議会名 北豊島地域コミュニティ推進協議会
代表者名 川口和則 

記

事業の名称	公園バスケットコート整備事業
事業実施前の状況	豊島東公園(ブランコ ジャンゲルジム開設)等開設されているが高架下という条件下であまり子供たちが遊びの少ない公園であった。
事業実施後の状況	同公園内に3on3コート(15m×14m)カラー舗装コートバスケットコート(子供用一基 大人用一基)を整備し、スポーツを通じコミュニケーションと子供の育成を図っていきたい。
事業の効果	開設時から日に5名10名と多くの子供たちの歓声に包まれ利用した子供たちから非常に喜ばれ、スポーツを通じて健全な育成に寄与した。
今後の課題等	開設をした場所が高架下であったのと24時間開放であったので深夜利用者の奇声ボールバウンド音等騒音について地域住民から苦情が起き、年末に一旦使用禁止にせざるをえなくなった。 後はフェンス扉の管理人での鍵管理を行っていく予定。